

(臨床研究に関するお知らせ)

2018年5月15日～9月30日の期間中に社会医療法人愛仁会高槻病院8階東病棟にご入院中またはご入院される患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院看護部では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

「病棟構造を活かしたより患者さまに寄り添うことができる看護体制の検討」

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院看護部 副看護部長 太田 圭子

3. 研究の目的

平成28年～29年に当院で実施した「看護と建築の視点」で、同じ診療科（整形外科）の旧・新病棟を比較して、建築構造が看護業務、特にベッドサイドナーシングの実現にどのように関与しているかを確認するために調査研究を行った。その研究結果の中で、現在実施している「高槻版PNS+継続受け持ち制」で受け持ち患者が病棟内に点在しているより、「高槻版PNS+部屋持ち」にした看護体制の方がより「気づき看護時間」が伸びることが示唆された。

そこで成人系の8階東病棟で、実際に看護提供方式を変更する前後で、導線や業務量、気づき看護時間などの調査を行い、患者対応時間の増加や前残業の減少など変化の有無を可視化したいと考え取り組むこととしました。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2018年5月6日～9月30日の期間中に、8階東病棟に入院しておられたすべての方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、診療科、病名、「重症度、医療・看護必要度」評価点数（手術を受けておられる方はその手術術式）、病室番号・ベッドの位置番号、です。

(3) 方法

- ・電子カルテに記録されている上記情報を匿名化して抽出し、病棟構造図に落とし込み、看護師の動線や業務調査結果と併せてシミュレーションを行います
- ・本研究は、株式会社大林組および千葉大学大学院工学研究科との共同研究として行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院看護部 副看護部長 太田 圭子

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

email: oota.keiko@aijinkai-group.com